

中部教育事務所だより

発行所 群馬県教育委員会事務局
中部教育事務所
発行人 加藤 隆浩
発行日 令和7年3月21日
〒 前橋市上細井町2142-1
371-0051 Tel(027)232-6511

「教員の魅力とは」

中部教育事務所 管理主監 南田 勝



私が教員になったのは今から30年以上前。時が過ぎ学校教育を取り巻く環境も大きく変化しています。そんな中、県内全体で教員不足が叫ばれているところです。教員の魅力って何だろう？そんなことを考える日々が増えています。群馬県では今年度より施策の一つとして「インクルーシブ教育」が推進されています。しかし、これは決して今に始まったことではなく、以前からどの学校でも行われていたことだと思います。一人ひとりのニーズに合わせてベストな選択をし、「個別最適な学び」や「協働的な学び」に結び付いています。そんな中、私の中でもインクルーシブ教育とは言えませんが、今でも思い出に残っている生徒がいます。私が初任の中学校で顧問をした女子バスケットボール部で特別支援学級に在籍していた生徒です。体力面でも技術面でも差は歴然としていましたが決して練習を休むことなく参加していました。試合に出るというレベルではありませんでしたがいつも楽しそうに練習に取り組んでいました。そんな彼女を見ながら私の中でいつか彼女を試合に出してあげたいという思いが強くなりました。彼女の努力の成果もあり、時間を重ねるごとに少しずつ技術を身に付け、ルールも覚えていきました。また、ずっと彼女をサポートしてくれる仲間がいてくれたことも大きかったと思います。最後の年、彼女を大会に出場させることができました。生き生きと動き回っている彼女は本当に輝いていました。ドリブルをし、シュートも打っている。試合終了後の彼女の涙と満足そうな表情は今でも私の脳裏にしっかりと焼き付いています。そんな彼女から二十歳過ぎまで電話や手紙をよくもらいました。内容はいつもバスケットボールと仲間の話。「先生、またみんなでバスケットやりましょう」というのが口癖でありました。彼女との出会いは特別支援教育に対する私の原点だったと思っています。彼女から子供の無限の可能性を学ばせてもらったことに本当に感謝しています。

教員は決して楽な仕事ではありません。壁にぶつかることも多いです。しかし、教員という仕事はたくさんの感動を子供たちからもらえます。子供たちの無限の可能性に気付かせてもらえます。あのキラキラした目、屈託のない笑顔の中で毎日を過ごすことができます・・・こんな素晴らしい仕事はありません。壁を一つずつ乗り越えた先に何倍もの感動に出会えるのですから・・・それが教員の最大の魅力だと思います。

最後に今年度も教員不足の中、各学校には多大なご迷惑、ご負担をかけてしまったことに対して心苦しく思っております。そんな中でも様々な工夫をしながら、子供たちの学びをより充実させるために教育活動を展開してくださっていることに感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。来年度も中部教育事務所として全力でサポートしていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

【学校教育係 人事】

『群馬大学大学院への現職教員の派遣』について考えてみませんか？

令和7年2月8日、雪が降る寒い中、群馬大学では、非常に熱い研究発表と意見交換が展開されていました。群馬大学教職大学院課題研究発表会が開催されていたのです。課題研究発表会は、教職大学院に派遣された現職教員の皆さんを中心に、1年目の大学院での学びと2年目の自校での実践を通して、学校における様々な課題や改善点に着目した研究内容がまとめられ、具体的かつ効果的な取組の成果や課題が発表されました。参加者から、実践の要所をついた質問や意見交換がされ、充実した発表会となっていました。

発表会の中で、派遣元の校長先生から、教員が大学院で学ぶことで、その先生の職能成長が図れるだけではなく、自校の課題や改善点をもとに、研究が進められることで、学校経営ビジョンがより明確になったり、校内研修が主体的かつ実践的な内容になったり、自校の授業改善が進んだりするなどのお話がありました。

今年度、現職教員を教職大学院に派遣した伊勢崎市立豊受小学校では、大学院1年目の学びを進めている教員が、研究のテーマに沿ったアセスメントを進めていく中で、校内研修において、非認知能力、学びに向かう力、ウェルビーイングの向上等に触れ講義を行ったり、研修主任の良き相談相手になったり、研究対象となる学年の授業に入り、若手の授業のお手本となったりするなど、置籍校に様々な角度からよい影響を与えていることがうかがえます。

教職大学院で学んでみたいと考える皆さんは、ぜひ管理職に相談をしてみてください。そして、管理職の方々には、学校の経営ビジョンと先生方の職能成長を照らし合わせて、中・長期的な構想を練っていただき、現職教員の大学院派遣を一つの手段として、お考えに加えていただくとありがたいです。派遣制度については遠慮なく、市町村教育委員会教職員係・中部教育事務所人事担当へ問い合わせてください。

【学校教育係 指導】

外国人児童生徒等教育充実のための研究協議会 玉村町立中央小学校

令和6年11月22日(金)に玉村町立中央小学校において、外国人児童生徒等教育充実のための研究協議会が実施され、日本語指導担当教諭、外国人児童生徒等の在籍学級の担任教諭、日本語指導スーパーバイザー(JSV)等、56名の方々に参集していただきました。

協議会では算数(1年生)、理科(4年生)、国語(6年生)の「入り込み指導」(教室で各教科等の授業に入り込み行う支援)と「取り出し指導」(日本語教室へ児童を取り出して行う日本語等の指導)の様子が公開されました。「入り込み指導」では、一斉指導の中でも、易しく分かりやすい言葉に言い換えるなど、個に応じた支援を通して安心して学習に取り組める環境を整えていました。また、「取り出し指導」では、他の児童が作った絵本の読み聞かせを通して、活動への意欲を高めると共に必要感のある魅力的な活動が行われました。また、児童にとって理解が難しい言葉は母語を交えて説明することで安心して学習できるようにしたり、一つの文を基に単語を入れ換えて新しい文を書いたり話したり、繰り返し練習したりする活動が行われました。

また、玉村町教育委員会や中央小学校からは、玉村町内における外国にルーツのある児童生徒数や国籍の変化、日本語教室の取組の工夫や日本語教室担当や保護者、他校との連携について説明がありました。

班別協議では、「日本語指導が必要な児童生徒への支援のための連携の在り方」をテーマとして、日本語教室担当と関係職員の連携・情報共有の在り方や学校内の受け入れ環境づくり等について熱心な話し合いが展開されました。個別の指導計画の作成や活用、指導記録の共有、互いの文化や多様な価値観の尊重、家庭や周囲のサポートの在り方について等、参加者にとって有意義な協議の場となりました。

【班別協議で話し合われた内容】

- ・入り込み指導では常に付き添うのではなく、子供が困った時に支援する。
- ・本人の自己肯定感が低くならないよう、家庭や周囲のサポートが必要である。
- ・日常会話はすぐに覚えるので、友達とのコミュニケーションを大切にする。等

【参加者の感想より(公開授業を含む)】

- ・他の市町村や校種の方々と、地域の実情や日本語指導に際しての課題について、連携という視点から充実した話し合いができた。
- ・日本語指導員、助手との連携等、組織的できめ細かな指導体制や、日本語教室、校内の掲示物等の環境が参考になった。
- ・「入り込み指導」、「取り出し指導」の両方を参観できたので、今後の指導の参考になった。等



【生涯学習係】

地域でつなげる家庭教育支援の輪

家庭教育はすべての教育の原点であり、子供を育てる基盤です。しかし、地域のつながりや親どうしの交流が希薄化していく中、家庭が悩みを抱え込む状況があります。このような状況の中で、本県では「ぐんまの家庭教育応援条例」を制定し、家庭教育を社会全体で応援し、子供たちが幸福で豊かな生活を営むことを目指しています。

当事務所生涯学習係では、家庭教育を応援するため、管内市町村の家庭教育支援担当や子育て支援担当、地域の子育て支援団体関係者に事業への参加を呼びかけ、研修を行っています。本年度の「中部地区家庭教育支援連携推進事業」では、子供を取り巻く課題の一つである「ヤングケアラー」を取り上げ、NPO法人虹色のかさ理事長高橋知之氏を講師に「ヤングケアラーの現状と支援の実際」と題して、講演を行いました。ヤングケアラーとは「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っている子ども・若者」のことです。講師は、ヤングケアラーが見過ごされやすい現状に触れ、学校や地域の関わりを通じて、連携して家庭の状況を把握することの重要性を訴えていました。

今後も、子供を取り巻く課題を取り上げていきながら、各関係団体等が連携して、家庭教育を応援できる地域づくりを目指していきます。



【総務係】

学校教職員の皆様へ

- ①通勤途中や勤務時間中に、医療機関を受診しなければならない怪我をした場合は、直ちに校長、副校長、教頭等に報告してください。「公務災害」の対象となる場合があります。校内での転倒事故、体育や部活動指導中の事故などが多発しているので、準備運動等、適切に行ってください。
- ②各種手当の認定要件等に変更があった場合は、必ず事務職員に申し出てください。

【例】転居、家賃の変更、扶養親族の増加(父母の収入減、子の出生等による)、扶養親族の所得増(108,333円超/月)